

2023年5月

『ベスト・エッセイ』

～ THE BEST ESSAY 2020 ～

日本文藝家協会編（桜木 紫乃）

今回のオススメ本、『ベスト・エッセイ』は、毎年、その年に新聞・雑誌などで発表された数多くのエッセイの中から、読み応えのあるものを精選し、まとめあげたエッセイ集です。

日本文藝家協会が毎年編纂しているもので、今回のオススメ本は、その2020年版です。

毎年発刊されているなかで2020年版を選んだ理由は、3月に美幌町図書館開館70周年記念講演に来ていただいた桜木紫乃さんの作品が載っているからです。桜木さん本人から、『ベスト・エッセイ』に選ばれたことがあると伺っていたのですが、その時はどの本なのか聞き漏らしていました。ようやく探し当てたのが、この本です。手にして驚いたことに、そこには名だたる作家の名が51もありました。

一つ一つは短いのですが、確かに読み応えのあるものばかりです。目次から好きな作家だけを選んで読むのも、いいのかもしれない。

ちなみに、桜木紫乃さんのエッセイ、『軍艦島にて』は、夫婦で世界遺産となった軍艦島を訪れたことが書かれています。

私が気になったのは、高橋源一郎さんの『幻の女』です。若いとき、一度だけ行った銀座の資生堂パーラーが登場したからかもしれません。

日常生活の機微を切り取ったエッセイの妙味を、ぜひご堪能いただければと思います。

